

III 数学

本県の児童生徒は、算数・数学が苦手であるとしばしば指摘される。では、実際に本県の中学生は、数学に対してどのような教科イメージを抱き、なぜ嫌いになったりしているのか、意識と学習行動を探った。

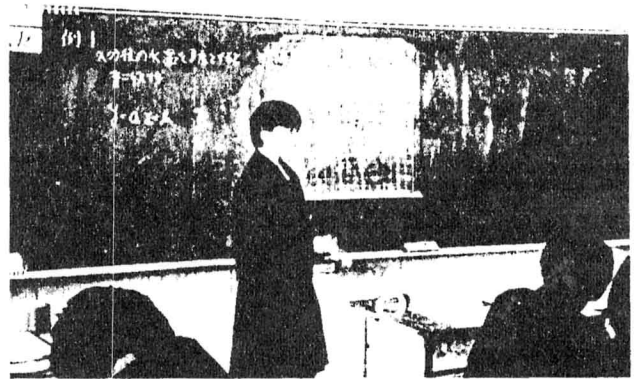
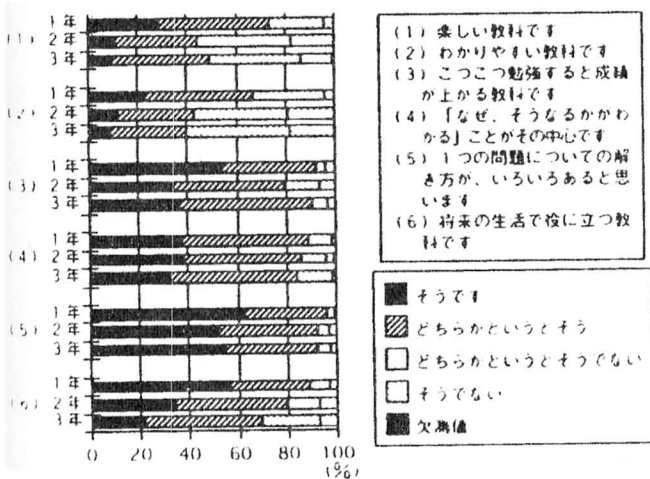
楽しい分かりやすい教科「数学」

今回の調査で注目させられたことの一つは、中学校1年生の70%前後が、数学の教科イメージを「楽しい」「分かりやすい」と肯定的に評価していたことだった。

これは、調査した月が、入学してまだ間もない7月であったことも、関係しているかも知れない。2年生になると、肯定的な評価が50%を切ることで併せて注目すべきことのように思われる。

なお、「こつこつ勉強する」「将来役に立つ」などのイメージが強いのは、当然と言えば当然である。

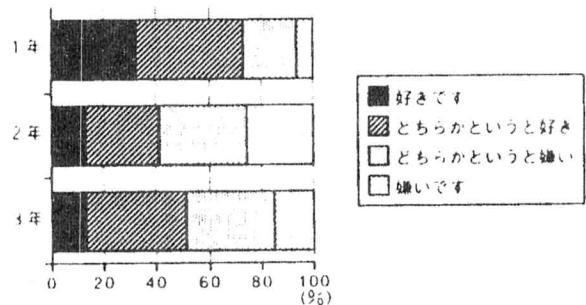
教科観



数学嫌いの2年生

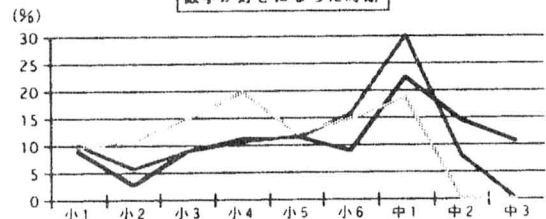
「数学に対する好き嫌い」を学年別に集計したものが下のグラフである。2年生の数学嫌いが目立つ。

数学の学習が好きか



いつ、数学を好き(嫌い)になったか算数嫌いが、小学校中学年に始まり、中学校1年が、好き嫌いの分節点であることが分かる。

数学が好きになった時期



数学が嫌いになった時期

